

下水道 B C P (Business Continuity Plan)のご提案

1. 下水道 B C P 策定の背景

地震に伴う直接被害や地震に起因する津波被害、降雨に伴う浸水被害など、下水道施設の機能停止を誘発するリスクが高まっています。

発災時においても下水道が担うべき機能を維持し、早期回復を図らなければなりません。

当社では、これまでに培ってきた関連業務での経験を生かして、**大規模地震や浸水被害等の発災時**においても下水道が果たすべき**機能を確保**するため、**下水道 B C P の策定**をご提案します。

2. 発災時における下水道機能の確保と早期復旧を目指して

下水道 B C P (Business Continuity Plan) とは、地域防災計画等で定められた下水道における災害時応急対策に向けた計画であり、災害時の**様々なリソース** (人、モノ (資機材、燃料等)、情報、ライフライン等の資源) の**制約**を想定して、下水道部局が**発災後に必要な業務**を中断させることなく、どのようにしていつまでに実施するかを明確にするものです。ハード対策である“防災対策”も重要ですが、下水道 B C P はソフト対策である“減災対策”として必要不可欠です。下水道 B C P の国の取り組みは右図のとおりであり、また、下水道 B C P は大きく以下の4計画に区分して策定していきます。

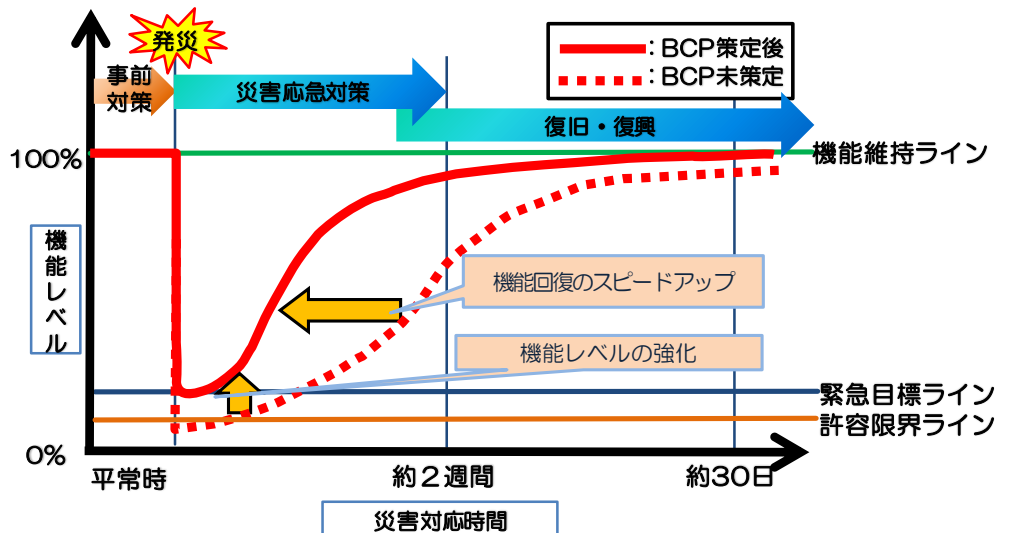


図 下水道 B C P 導入による効果のイメージ

出典：「下水道 B C P 策定マニュアル 2019 年版」(国土交通省)を基に作成

事後対策計画

- ・発災後、何を、いつまでにすべきかを整理
- ・点検、調査、緊急措置、応急復旧までのプロセスと目標時間を設定

事前対策計画

- ・施設の耐震化等の状況から被災の影響を受ける箇所を把握
- ・施設の機能低下や停止によって市民や社会に与える影響低減

訓練計画

- ・被災時の緊急点検、調査手法など基本的な技術習得
- ・被災時においても応用力のある職員育成、災害対応能力向上

維持改善計画

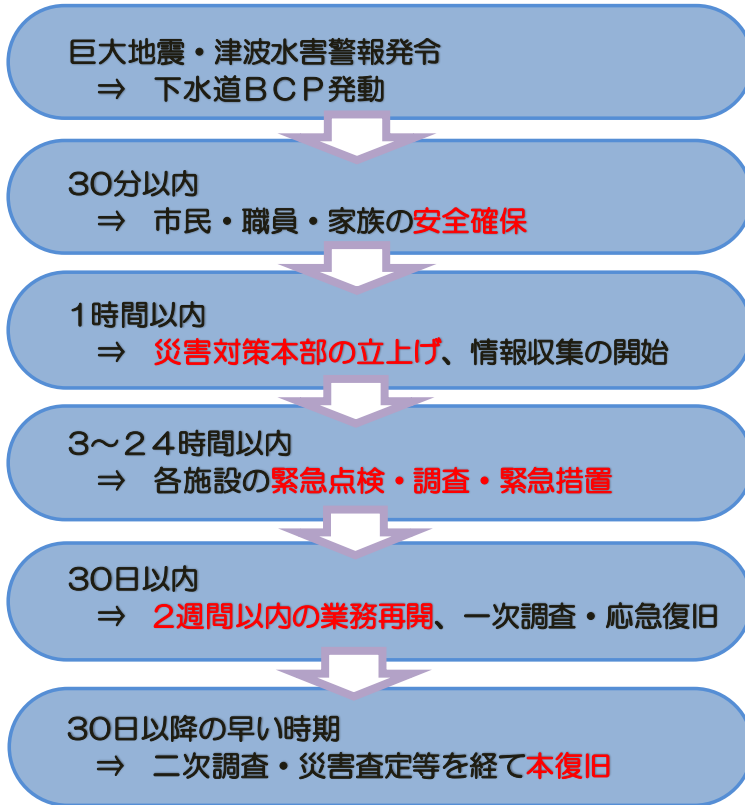
- ・関係機関等との連絡体制は常に最新の状態に維持
- ・P D C A手法によって維持改善



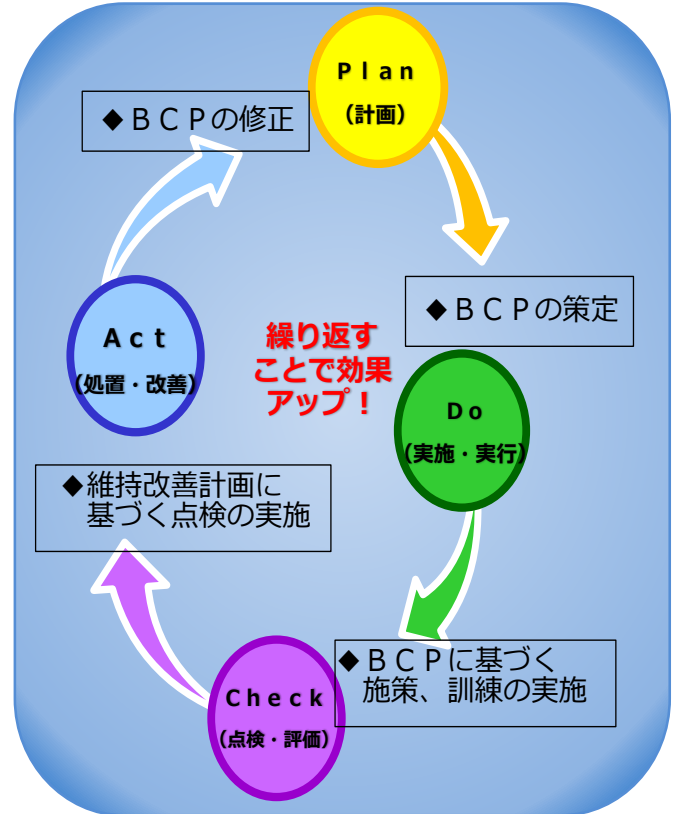
3. 「下水道BCP計画」の事例

「事後対策計画」と「維持改善計画」の例を以下に示します。

【事後対策計画】の例



【維持改善計画】の例



4. すべての下水道管理者へ実効性の高い下水道BCPを

これまで、大規模地震や浸水での下水道施設の被災経験を踏まえて、事前対策としての施設の耐震化、耐水化の促進、被害発生後の早期復旧に向けた取り組みが進められてきました。このような耐震化、耐水化などのハード対策の推進を図りつつも、「職員や事業所が被災するかもしれない」という想定の下で、迅速かつ高いレベルで下水道の機能の維持や早期回復を図っていくためのソフト対策が必要です。発災時にはすみやかに発動できる**実践的な下水道BCP**を策定し、その**実効性**を高めることが急務となっています。当社では、これまでの業務実績を踏まえて**自治体の特性に即した、より実践的な災害対応手順を示した下水道BCP**の策定をお手伝いします。

主な業務実績

- ◆ 千葉県銚子市 下水道事業継続計画（BCP）改訂業務（令和2年度）
- ◆ 福岡県福津市 福津市下水道事業継続計画策定業務委託（平成28年度）

お問い合わせ・資料のご請求

株式会社 東京設計事務所 東京支社

・デザイン第2グループ 大庭勝 TEL 03-3580-2754 masaru_ohba@tokyoengicon.co.jp